

山 ^{みどり} 水士里ネットみやぎ

土地改良広報

謹賀新年

みやぎデジタルフォトライブラリー
二の倉海岸～蒲崎海岸 日の出 (岩沼市)

CONTENTS 1

新春挨拶

CONTENTS 2

令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動を実施しました

宮城県土地改良事業団体連合会

2020

1

トピックス

お知らせ

- P 3 新春挨拶
- P 11 令和元年度 第4回理事会を開催しました
- P 11 令和元年度 定期監査及び第4回監事会、第5回監事会を開催しました
- P 12 令和元年度「農業農村整備の集い」が開催されました
- P 13 農業農村整備事業関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動、令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動が実施されました（東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会）
- P 14 令和元年台風第19号及び10月25日低気圧による災害に係る被害状況等について
- P 15 令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動を実施しました
- P 16 「令和元年台風第19号の暴風雨による災害」に伴う本会への技術職員の派遣が1道5県より実施されました
- P 17 第24回七夕まつり“こどもに夢を”を開催しました
- P 18 令和元年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業を実施しました
- P 19 令和元年度 若手職員研修会を開催しました
- P 20 令和元年度 中堅職員研修会を開催しました
- P 21 令和元年度 第1回、第2回農業水利施設ストックマネジメント研修会を開催しました
- P 22 令和元年度 土地改良区役員研修会を開催しました
- P 22 令和元年度 土地改良区職員研修会を開催しました
- P 23 令和元年度 インターンシップ事業を実施しました
- P 24 第42回全国土地改良大会岐阜大会が開催されました
- P 26 宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会 令和元年度総会が開催されました
- P 27 みやぎ水土里ネット女性の会 令和元年度通常総会及び研修会が開催されました
- P 28 「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会が開催されました
- P 29 令和元年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました
- P 30 国営中津山農業水利事業完工式が開催されました
- P 31 令和元年秋の叙勲、令和元年文化の日表彰
- P 32 土地改良区めぐり シリーズ31～石巻市蛇田土地改良区
- P 34 本会会員代表者の就退任関係
- P 34 連合会日誌（8月～12月）
- P 35 今後の行事予定（1月～3月）



新年のご挨拶

宮城県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から8年10ヶ月が経過し、この間各関係機関のご尽力により被災地の復旧・復興が着実に進んでおりますことに感謝申し上げます。

昨年は、10月12日から13日の台風第19号による記録的な大雨で宮城県内では、阿武隈川流域、鳴瀬川流域、吉田川流域などの河川の氾濫や決壊で住宅地の大規模な浸水、土砂崩れなどが起こり、多数の人的被害や家屋の倒壊・損壊などのほか、農地や農業水利施設、農作物などに甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

本会では、被災直後より各関係機関との連携を図りながら、被災現場の把握、災害査定への対応などにこれまで蓄積した技術力を遺憾なく発揮し、被災地が一日も早く復旧しますよう、役職員一丸となって全力で取り組んでいるところであります。

近年、北海道胆振東部地震や台風第19号の豪雨による災害などに代表されるように、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、老朽化した農業水利施設の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっており、そのための3か年緊急対策が今年度で確実に完了するための予算措置が強く求められております。

このような中、土地改良関係予算については、農業関係者からの強い要請と熱意を受け止めていただき、令和元年度補正予算と令和2年度当初予算を合わせて、前期比64億円増の6,515億円となりました。令和2年度以降においても現場のニーズに適切に対応し安定的・計画的な事業推進のため、引き続き強力に現場からの声を届けていく所存であります。

今年、宮城県では、東日本大震災からの震災復興計画に定める「発展期」の最終年に当たり、復興の基本理念に基づく震災復興の総仕上げに向けて、「創造的な復興」を実現するための取り組みが進められております。

一方、国では今年3月末に閣議決定される新たな食料・農業・農村基本計画の策定に向けて、「国際競争力や人口減少で、農業や関連産業、地域の持続可能性が危機にある」ことや、「大規模な担い手の育成だけでなく、小規模農業も含む多様な農業を後押しする必要性」などについて議論されておりますが、我々水土里ネットみやぎは、それら課題の解決と、人間の存続に欠かすことのできない「水・土・里」を未来に継承していく使命のもと、力強い農業農村の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、関係する皆様方のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして平穏な佳き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



新たな時代を迎えて

宮城県知事 村井嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、令和元年台風第19号の豪雨により、本県も河川の破堤や越水等により大きな被害を受けました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

現在、河川堤防等の応急復旧に全力を挙げると同時に、被災した道路・橋りょう、林道、農地・農業用施設などの復旧について対応を急いでいるところであります。

災害対応に当たっていただいている宮城県土地改良事業団体連合会及び各土地改良区の役職員の皆様には、心より感謝申し上げます。

本格復旧については、今後、災害査定などの状況を見ながら必要な予算措置を講じ、災害に強い県土づくりを目指してまいりますので県民の皆様の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、去年は平成が幕を閉じ、令和の元号の下、新たな時代がスタートしました。全ての災害公営住宅が完成し、気仙沼大島大橋が開通するなど、東日本大震災からの復旧・復興については、住まいやインフラ面の整備が順調に進捗しています。また、次世代放射光施設の建設に向けた敷地造成の着手や、民営化から4年目を迎えた仙台空港の利用者が過去最高を更新するなど、「創造的な復興」の実現に向けた取組の成果が現れた1年でした。

今年は、「宮城の将来ビジョン」と「宮城県震災復興計画」の最終年となり、復興の総仕上げと復興期間後の取組を見据えた重要な年となります。「力強くきめ細かな震災復興」、「地域経済の更なる成長」、「安心していきいきと暮らせる宮城の実現」、「美しく安全なまちづくり」を政策推進の基本方向として、復旧・復興の完遂に向けた施策に最優先で取り組むとともに、富県宮城の更なる発展や教育・福祉の充実などに向けた取組を推進するほか、働き方改革や各分野における人材の育成・確保に取り組んでまいります。また、農業分野では、引き続き農地の大区画化や担い手への農地集積、高収益作物の導入などを推進し、農業の収益性向上と競争力強化に取り組むほか、農村地域の防災・減災対策にもしっかりと対応してまいりますので、引き続き皆様の御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

農業・農村を取り巻く情勢は年々厳しくなっておりますが、昨年施行された土地改良法の一部改正に適切に対応され、組織や経営基盤の強化を図っていただくことにより、将来にわたって本県農業・農村の発展に大きく寄与されますことを期待申し上げます。

震災から間もなく9年が経過いたします。県民の皆様一人一人が「創造的な復興」を実感できるよう、新たな取組にも積極果敢にチャレンジしたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



復興の総仕上げと 更なる飛躍に向けて

宮城県議会議員 石川 光次郎

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

また、令和元年台風第19号やその後の大雨により、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

昨年11月の第370回宮城県議会におきまして、第44代議長に選出いただきました石川光次郎と申します。就任に当たりましては、皆様からあたたかな激励をいただき感謝申し上げますとともに、議長として果たさなければならない責任の重さと与えられた課題の大きさに改めて身の引き締まる思いをしております。

さて、昨年は、平成の時代が幕を閉じ、令和の元号の下、新たな時代のスタートとともに、貴連合会が創立60周年を迎えられ、「令和元年度宮城県土地改良大会」が記念大会として盛大に開催されました。この輝かしい伝統と実績は、日々、農業生産基盤の維持・整備を通じ、住民と連携した地域づくりや本県農業の振興に努めてこられました皆様方のご努力の賜物であり、ここに関係者の皆様のご尽力に対し深く感謝を申し上げます。

県政においては、本格デビューから2年目となりました宮城米の新品種「だて正夢」が、作付面積を前年度の2倍に拡大したほか、ICTやAIといった先端技術を活用した先進的な農業技術の普及を推進するため、「みやぎスマート農業推進ネットワーク」が設立されました。また、その他の施策といたしましては、三陸縦貫自動車道やみやぎ県北高速幹線道路の一部区間が相次いで開通したほか、気仙沼大島大橋の完成や仙台空港の就航路線拡大など、「創造的な復興」の実現に向けた取組が実を結んだ1年だったと感じております。

また、県議会におきましては、議会活動の活性化と地域における人材の育成を図るため、宮城大学と包括的な連携協定を締結したほか、地域に根ざした酒造産業と農林水産業の振興を図るため、議員提案による「食材王国みやぎの伊達乾杯条例」を制定するなど、県議会の更なる活性化に向けた取り組みを進めた1年となりました。

今年は、本県が定めた「宮城県震災復興計画」の最終年度を迎え、被災地の様々な課題に、きめ細やかに対応しながら新しい宮城を形づくる極めて重要な年となります。また、近年、全国各地で豪雨などの自然災害が頻発する中、県民の生命と財産を守るためにも、「ため池」などの農業水利施設の耐震化や、洪水対策など、農村地域における防災・減災対策の強化が求められており、農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、基盤整備の推進や土地改良施設の維持・更新が重要であると考えております。震災復興計画の完遂と、県勢の一層の発展に向け、県議会が一丸となって取り組むとともに、議会改革につきましても、これまでどおり不断の取組を進め、県民の皆様から信頼される県議会を目指して参ります。

今年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されるほか、「第40回全国豊かな海づくり大会」が宮城県で開催されます。本県が、新たな時代とともに更なる飛躍を遂げ、また、この一年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭の抱負

東北農政局長 川合靖洋

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より農政及び農業農村整備事業の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

最初に、昨年、台風第19号及び10月25日～26日の大雨により亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、甚大な被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災された農家及び土地改良区の皆様方におかれましては、大変な御苦勞をされているものと思っておりますが、東北農政局といたしましても、一日も早い営農再建に向けての支援をしっかりと行っていくこととしております。

また、東日本大震災の被災から、まもなく9年が経過しようとしております。津波により被災した岩手県、宮城県の農地については、ほぼ全域を営農可能な状況まで復旧しました。復旧を契機としてほ場の大区画化や担い手への農地集積を推進するなど、復興・創生が力強く進められております。一方、福島県の被災農地について、営農再開可能面積が2／3程度にとどまっているなど、原発事故により避難を強いられた地域での農業の復興・創生の取組は、道半ばです。地域の再生を進めるためには、核となる農林水産業の復興が重要であることから、被災12市町村への農林水産省職員の派遣を強化するとともに、関係機関と連携し農業の再開を強力に後押しすることとしております。

さて、農業農村整備に関する動向としては、昨年7月に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が施行されました。この法律には、ため池の所有者等による届出の義務付け、適正管理の責務の明文化、さらに、防災上重要なため池の工事を行う際に県の許可を要することなどが盛り込まれております。昨年の台風第19号等により、東北管内でも11か所のため池が決壊する事態となっております。いつ起こるかも知れない豪雨や地震に備えて、関係者が一丸となって、ため池の適切な管理や保全を行うことが求められているところであります。

さらに、昨年6月には、江藤現農林水産大臣が中心となって取りまとめられた「棚田地域振興法」が議員立法により成立し、8月に施行されました。棚田地域は農産物の供給にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、良好な景観の形成、伝統文化の継承などの多面にわたる機能を有しています。この法律では、農林水産省のみならず、観光庁、文化庁、総務省、環境省といった関係府省庁と連携して、棚田を核とした地域の振興のための支援を行うこととしております。このため、関係府省庁の施策も有効に活用しつつ、棚田地域における定住の促進や、国内外の地域との交流促進が図られるよう、農林水産省としても最大限の尽力を怠りません所存であります。

東北農政局といたしましては、これらの新たな制度の導入に加え、引き続き、農業農村整備事業の推進などにより、農地の大区画化・汎用化を通じた担い手への農地集積・集約の加速化や高収益作物の導入推進、農村地域の国土強靱化対策に取り組んでまいります。

本年が皆様にとって良き一年となることをお祈りするとともに、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
(全国水土里ネット)

会長 二階俊博

令和2年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、6月、8月の大雨、さらに台風第15号、第19号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和2年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る4,433億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると6,515億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年7月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に12年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであります。これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成30年の7月豪雨では、全国で32カ所のため池が決壊し、尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、2年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者として、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げる次第です。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々には心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」（初回開始後百周年）も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円（対前年度比64億円増）を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に添えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいります。

宮城県では、今年、「宮城県震災復興計画」に定める「発展期」の最終年度を迎え、復興の基本理念に基づき、「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」による「創造的な復興」の実現に向け、力強くきめ細やかな復興の推進に最優先に取り組んでいると伺っております。水土里ネットみやぎにおいても、震災からの復興の総仕上げに向け、組織の総合力を最大限に発揮し、被災地域の再生・復興に全力で取り組んでいただきたいと思います。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいりますので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。

宮城県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。宮城県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保など、これまでの活動中皆様からいただいたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も台風第19号をはじめ一連の自然災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。宮城県においては446億円の農林水産関係被害が生じるなど、農地や農業用施設も全国各地で大きな被害が広範囲で発生しました。早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割を踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特に、ため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和3年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけではなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地でも推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は総額で6,515億円（当初4,973億円、補正1,542億円）を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

また、産業政策だけではなく、家族農業や中小規模の農家、兼業農家の役割を再確認しつつ、地域農業、農村集落自身を守っていくための地域政策をバランスよく実施していかなければなりません。農政の基本となる食料・農業・農村基本計画の5年に一度の見直しが進められていますが、その中にもしっかりと位置づける必要があります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力してまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しを大胆に進めていきたいと考えております。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



会 長 伊藤 康志
(大崎市長)



副会長 亀谷 久雄
(あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長)



副会長 佐藤 稔
(仙台東土地改良区理事長)



専務理事 菅原 喜久男
(学識経験者)



理 事 加藤 徹
(学識経験者 宮城大学名誉教授)



理 事 渥美 巖
(学識経験者)



理 事 樋口 俊彦
(蔵王町土地改良区理事長)



理 事 浅野 元
(大和町長)



理 事 菅原 勘一
(大崎土地改良区理事長)



理 事 菅原 義幸
(迫川上流土地改良区理事長)



理 事 千葉 敏彦
(迫川沿岸土地改良区理事長)



理 事 鈴木 博
(石巻市北方土地改良区理事長)



理 事 横山 徹
(鳴瀬土地改良区理事長)



総括監事 阿部 公
(登米市豊里町土地改良区理事長)



監 事 齋藤 昌徳
(美里東部土地改良区理事長)



監 事 日下 清一
(亶理土地改良区理事長)

外職員一同

令和元年度 第4回理事会を開催しました

本会では、去る12月13日（金）午後3時30分から令和元年度第4回理事会を開催し、議事は亀谷副会長が議長を務め、第1号議案「一般会計収入支出補正予算について」、第2号議案「職員の表彰について」の2議案を上程し、事務局からの内容説明の後、審議を行いました。

第1号議案では、台風第19号災害による事業量の増加に伴う一般会計収入支出補正予算について、第2号議案では、勤続25年の職員表彰についての各議案が承認可決されました。

議事終了後、阿部総括監事から令和元年度定期監査の結果報告があり、続いて事務局から今後の行事予定について報告を行い、理事会を終了しました。

理事会に提出された議案は次のとおりです。



令和元年度 第4回理事会の様子

第1号議案 令和元年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について

第2号議案 職員の表彰について

令和元年度 定期監査及び第4回監事会、 第5回監事会を開催しました

本会では、去る10月23日（水）及び24日（木）に定期監査と第4回監事会を、12月13日（金）に第5回監事会を以下のとおり開催しました。

定期監査においては本年度上半期分の状況を監査し、その結果を次回理事会へ報告することとしました。

また監事会では、以下の各議案について審議が行われ、それぞれ原案のとおり承認されました。



定期監査（令和元年10月23日（水）～24日（木）実施）

監査事項 （1）令和元年度受託事業執行状況について

（2）令和元年度一般会計予算の上半期分執行状況について

第4回監事会（令和元年10月24日（木）開催）

第1号議案 監査結果の処理方法について

第5回監事会（令和元年12月13日（金）開催）

第1号議案 令和元年度一般会計収入支出補正予算の専決処分に係る承認について

令和元年度「農業農村整備の集い」が開催されました —農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—

去る11月11日（月）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、全国から農業農村整備事業関係者約1,300名が参集し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い—農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—」が、多数の国会議員のご臨席のもと盛大に開催され、本県からも亀谷久雄副会長をはじめ20名が参加しました。

はじめに、主催者である二階俊博全国土地改良事業団体連合会長（自由民主党幹事長）より、「今年も前線に伴う大雨や台風の暴風雨などにより、多くの災害が発生しています。政権を担っている自由民主党は政府とともに現地の皆さんのご要望に応じて、被災地の一日も早い復興、回復を目指し、出来ることは全て行っていく決意をお誓い申し上げます。」と挨拶され、来賓として出席された江藤拓農林水産大臣、森山裕自由民主党国会対策委員長、西川公也内閣官房参与、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問、塩谷立自由民主党農林・食料戦略調査会長よりご祝辞が述べられました。

要請文提案では、岐阜県土地改良事業団体連合会藤原勉会長より6項目からなる要請書の提案説明が行われ、全会一致で採択されました。

続いて、優良地区のDVD上映による事例発表があり、最後に群馬県土地改良事業団体連合会熊川栄会長のかけ声のもと、参加者一同による力強いガンバロウ三唱で「農業農村整備の集い」は終了しました。



二階俊博全国土地改良事業団体連合会長の挨拶



農業農村整備の集いの様子

農業農村整備事業関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動、令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動が実施されました (東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会)

去る11月12日(火)、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会による要請活動が実施されました。

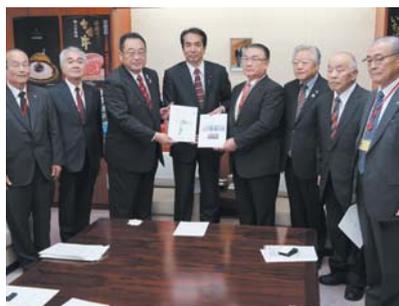
当日は、各道県土地改良事業団体連合会の会長・副会長・専務理事等が参集し、江藤拓農林水産大臣・政務三役・事務次官以下農林水産省担当部局及び田中和復興大臣・政務三役以下復興庁担当部局、更には財務省の角田隆主計局次長以下同省担当部局に対し、令和2年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関し要請内容の説明を行いました。また、令和元年に発生した台風第19号の被害に関し、災害対応に関する要請内容の説明を行いました。

農林水産省では、江藤大臣から「令和2年度当初予算の確保については一生懸命取り組みます。大事なものについては、しっかり取り組みます。台風被害については、承知しています。いい仕組みを作りましたから、中身をよく理解していただき、これらを活用し評価に繋げていただきたい。」との話がありました。

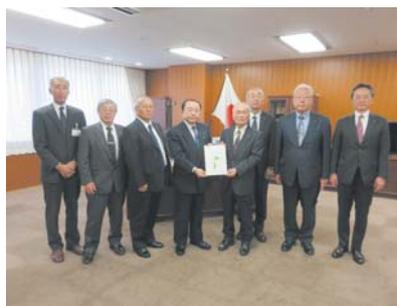
復興庁では、田中大臣から「復興創生期間後の支援の在り方について、復興状況の進捗状況、被災地方の公共団体の要望の状況を踏まえて、被災者の皆さんに寄り添って、年内に復興創生期間後の基本方針の作成に向けて検討を進めてまいります。」との話がありました。

更に、財務省では、角田次長から「農業農村整備事業予算については、今後も補正予算で対応していきたい。また、災害復旧については、現場の意見を吸い上げ、農家負担が軽減されるよう処置を講じていきたい。」との話がありました。

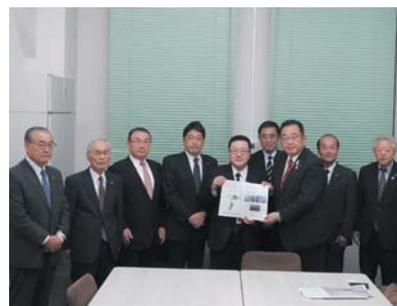
各省庁の要請活動後、各道県選出国會議員に対しても、同様の内容により強力な要請活動が実施されました。



江藤農林水産大臣
(左から4番目)へ要請



田中復興大臣(左から4番目)
へ要請



財務省角田主計局次長
(中央)へ要請

令和元年台風第19号及び10月25日低気圧による 災害に係る被害状況等について（令和元年12月27日現在）

1. 宮城県内における農業災害とその対応

令和元年10月12日から13日にかけて発生した令和元年台風第19号による被害と25日低気圧による被害によって農作物、農地・農業用施設を中心に、約553億7千万円の被害額（東日本大震災に次ぐ過去2番目の被害で、昭和61年8月5日豪雨を上回る）。被害の状況及び被害内訳・被害種別毎の被害額については、以下のとおりです。



大崎市鹿島台志田谷地地区

2. 降雨の状況（10月11日15時～13日9時の総雨量）

- ・丸森町（筆甫）594.5mm ・大崎市（鹿島台）274.0mm
- ・白石市 365.0mm ・栗駒市（築館）192.5mm
- ・仙台市 383.5mm ・石巻市 230.0mm
- ・亶理町 268.5mm ・気仙沼 183.0mm

3. 被害の状況等（令和元年12月27日現在）

- (1) 人的被害・・・死者19人、行方不明者2人、重傷7人、軽傷35人
- (2) 住家被害・・・全壊303棟、半壊2,964棟、一部破損2,659棟、床上浸水1,580棟、床下浸水12,326棟

《参考》 罹災証明書交付等に関する状況（R1.12.26現在）

申請受付数10,382件、交付済件数9,997件（内訳は以下のとおり）、交付率96.3%

- ・全壊301件・大規模半壊500件・半壊2,570件・一部損壊（準半壊）1,065件
- ・一部損壊（10%未満）5,543件・被害なし18件

- (3) 非住家被害・・・公共建物17棟、その他72棟

4. 宮城県農業関係被害額・・・合計55,370,708千円（県所管施設等を除く）

- (1) 農業関係被害額 計54,898,184千円

被害種別	被害内訳	被害額
農地・農業用施設被害	農地被害2,219カ所、揚水機被害312カ所、道路被害1,375カ所、水路被害2,533カ所、頭首工被害172カ所、ため池被害403カ所、橋梁15カ所、附帯施設等12カ所	44,592,192千円
農業関係施設被害	パイプハウス、鉄骨ハウス、農業倉庫、乾燥調整施設他浸水被害等735件	3,721,693千円
農業用資機材被害	トラクター、コンバイン、穀物乾燥機他浸水被害等1,571件	2,152,521千円
農作物被害	水稻・大豆・野菜類冠水、果樹落果等7,968.6ha	3,536,685千円
貯蔵収穫農産物被害	米	401,643千円
生活環境施設被害	農業集落排水20カ所	493,450千円

- (2) 畜産関係被害額 計472,524千円

被害種別	被害内訳	被害額
畜産施設等被害	家畜、畜舎、飼料他浸水被害等208件	472,524千円

※表（1）農業関係被害額、表（2）畜産関係被害額の被害額・被害内訳については、宮城県の令和元年12月27日記者発表委資料に基づきます。

令和元年台風第19号の災害対応に関する 要請活動を実施しました

令和元年10月12日から13日にかけて1都12県に大雨特別警報が発せられた大型の台風第19号は、これまでに経験したことのない記録的な大雨をもたらしました。

宮城県内では、阿武隈川流域、鳴瀬川流域、吉田川流域などで河川の氾濫や、住宅地の大規模な浸水、土砂崩れなどが起こり、多数の人的被害や、家屋の倒壊又は損壊などのほか、農地や農業水利施設などに甚大な被害が発生しました。

このような甚大な災害においては、国、県の迅速で強力な支援が重要かつ不可欠であることから、被災地の早期復旧に向けた要請活動を本会及び関係機関等で実施しました。

要請内容は次のとおりです。

記

1. 今回の被害の甚大性に鑑み、農地・農業用施設等の早期復旧のため、災害復旧事業は、事業制度等を拡充するなど、特別の措置を講じること。
2. 復旧・復興に当たっては、原状復旧にとどまらない、二度と被災しない基幹施設の抜本的な再構築など、前例にとられない柔軟な復旧・復興対策を早期に講じること。
3. 大量に発生した災害廃棄物の早期処理を支援し、特別の財政措置を講じること。
4. 被災農家の営農意欲を支えるため、営農再開に向けた無利子制度資金等による支援を講じること。

要 請 日	要 請 先
10月22日（火）	参議院議員 進藤 金日子（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）
10月28日（月）	参議院議員 宮崎 雅夫（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）
11月7日（木）	東北農政局、宮城県、宮城県議会
11月11日（月）	宮城県選出国會議員
11月25日（月）	衆議院議員 二階 俊博（自由民主党幹事長） 農林水産省農村振興局次長 奥田 透



進藤参議院議員へ要請



宮崎参議院議員へ要請



東北農政局農村振興部高居部長へ要請



宮城県農政部佐藤部長へ要請



二階自由民主党幹事長へ要請



農林水産省農村振興局奥田次長へ要請

「令和元年台風第19号の暴風雨による災害」に伴う本会への 技術職員の派遣が1道5県より実施されました

令和元年10月12日から13日にかけて宮城県内に未曾有の被害をもたらした令和元年台風第19号の暴風雨に伴う災害復旧事業について、現場測量設計・査定設計書作成等の作業量増加により、技術職員の不足による本事業の進捗が懸念されていた中で、全国土地改良事業団体連合会からの要請のもと、人的支援として、北海道土地改良事業団体連合会、岩手県土地改良事業団体連合会、秋田県土地改良事業団体連合会、福井県土地改良事業団体連合会、香川県土地改良事業団体連合会、広島県土地改良事業団体連合会の1道5県（6団体）より、技術職員の応援派遣を承諾していただきました。

応援職員の方々には、令和元年11月25日から令和2年1月17日までの期間、災害業務支援を行っていただく予定となっています。

今後も応援職員の方々のお力添えをいただきながら、復旧・復興に向け、組織の総力を挙げて取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



応援職員による災害業務の様子



応援職員の方へ感謝状を進呈



去る8月6日（火）から8日（木）に開催された仙台七夕まつりの期間にあわせ、東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎの共催により「第24回七夕まつり“こどもに夢を”～水土里の絆を新たな時代も～」を仙台市役所前の勾当台公園市民広場において開催しました。

このイベントは、会場を訪れる多くの一般の方々に、農業や農村の果たす役割や機能を理解してもらうために平成8年度から継続して実施しており、今年度で24回目の開催となりました。

東北農政局・宮城県のブースでは、今年も特別企画として「見て・さわって・食べて復興米クイズ！」を行いました。この特別企画は、東日本大震災により被災した農地や農業用施設の復旧・復興状況などをクイズ形式にしたパネルを「見て」、クイズとアンケートに答えていただいた方に景品として宮城県の復興米（石巻産ササニシキ・ひとめぼれ）を「さわって」すくい取って持ち帰り、最後はおいしく「食べて」いただく企画を実施しました。



見て・さわって・食べて復興米クイズ！

水土里ネットみやぎのブースでは、「生きものふれあいコーナー」と「団扇・絵はがきお絵描きコーナー」、「現場技術体験コーナー」を企画・展示し、子どもを中心に多くの方々に“見て・作る”体験をしていただきました。

「生きものふれあいコーナー」では、野生のメダカのほかに田んぼに生息するドジョウやザリガニ、カエルなどを水槽で展示したほか、希少なニホンウナギや30cmにもなる大ナマズを展示し、子どもだけでなく大人も興味深く見ていました。

「団扇・絵はがきお絵描きコーナー」と「現場技術体験コーナー」では、親子連れ、小・中学生のグループが参加され、終始大盛況のコーナーとなりました。参加していただいた方には農業農村整備事業に関する資料や水土里ネットみやぎのグッズなども配布して広報活動も行いました。



生きものふれあいコーナー

団扇・絵はがきお絵描きコーナー

現場技術体験コーナー

最終日はあいにくの天気となりましたが、3日間で1,100人を超える一般の方々に来場いただき、東日本大震災からの復旧・復興状況、農業・農村がもつ多面的機能などについて、知っていただくことができ、大盛況に終わることができました。

令和元年度 海岸防災林再生支援植樹活動 「水土里ネットの森」 保育作業を実施しました

東松島市大曲浜地区（平成29年7月植樹／施工面積0.26ha／植樹本数1,300本）

去る9月4日（水）、東松島市大曲浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を東部支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢35名参加のもと実施しました。

本地区は、雑草の成長が早く、年2回の保育作業が必要で、今年度2回目となる今回も参加者は鎌による手作業で、クロマツの苗木が傷つかないように丁寧にクロマツの周りを除草し、その後、草刈機を使用して周辺の雑草を刈り払い、2時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが104cmとなり、順調な生育となっていました。



背丈程もある雑草を除草



保育作業参加者全員による集合写真



104cmまで生育したクロマツ

岩沼市寺島字川向地区（平成27年10月植樹／施工面積0.055ha／植樹本数253本）

去る11月20日（水）、岩沼市寺島字川向地区（岩沼潮除須賀松の森（1号区））において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を名取土地改良区職員並びに本会職員総勢8名参加のもと実施しました。

当日は、強風が吹く中での作業となりましたが、本地区も東松島市大曲浜地区同様の除草作業を行い、1時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが168cmとなり、人間の身長程度まで生育していました。



強風の中での除草作業



除草作業後の林内



人間の背丈まで成長したクロマツ

なお、亶理郡亶理町吉田字砂浜地区については、令和元年台風第19号災害に伴い、本年度の保育作業を中止しました。

令和元年度 若手職員研修会を開催しました

去る9月2日（月）～3日（火）、富谷市の東北自治研修所において、本会並びに土地改良区の若手職員を対象とした研修会を開催しました。

この研修会は、若手職員の資質向上、対応力の向上を目的に社会人としてのビジネスマナー・接遇、業務遂行に必要なコミュニケーション能力を養うため、外部講師による講義を行いました。また、研修会を通して本会与土地改良区職員の交流を深めることも目的としています。令和元年度若手職員研修会では、本会職員5名、土地改良区職員18名の計23名が参加しました。

研修内容は次のとおりです。

【日 程】 令和元年9月2日（月）～9月3日（火）

【場 所】 公益財団法人 東北自治研修所

【研修内容】

日 程	研 修 内 容	講 師
9月2日（月）	宮城県の水文と農業農村整備	水土里ネットみやぎ 技監 鴫田 豊 氏
	接遇とは	東北コミュニケーション研究所 専任講師 高橋 利夫 氏
	接遇の必要性	
	接遇の知識と実践	
	クレーム対応とその実践	
9月2日（月）	電話のかけ方・受け方	
9月3日（火）	職場の人間関係とコミュニケーション	東北コミュニケーション研究所 専任講師 高橋 利夫 氏
	エニアグラムを学ぶ	



鴫田技監による講義



高橋選任講師による講義



研修会の様子



令和元年度「若手職員研修会」参加者

令和元年度 中堅職員研修会を開催しました

去る9月30日（月）～10月1日（火）、富谷市の東北自治研修所において、本会並びに土地改良区の中堅職員を対象とした研修会を開催しました。

この研修会は、職場での人間関係（上司・部下）の構築・コミュニケーションの取り方、中堅職員（リーダー）としての立場・仕事の考え方、問題解決等の研修会を行い、中堅職員としての能力向上・対応力の向上を目的に外部講師による講義を行いました。また、研修会を通して本会与土地改良区職員の交流を深めることも目的としています。令和元年度中堅職員研修会では、本会職員10名、土地改良区職員15名の計25名が参加しました。

研修内容は次のとおりです。

【日 程】 令和元年9月30日（月）～10月1日（火）

【場 所】 公益財団法人 東北自治研修所

【研修内容】

日 程	研 修 内 容	講 師
9月30日（月）	宮城県の水文と農業農村整備	水土里ネットみやぎ 技監 鴫田 豊 氏
	中核人材として求められる役割とは	株式会社インソース 講師 加藤 忍 氏
	組織を自分事として捉える当事者意識 上司の支援	
10月1日（火）	周囲に影響力を与え、周りを動かす	株式会社インソース 講師 加藤 忍 氏
	他部署との調整、合意形成	
	折衝・交渉を行う際の留意点	



鴫田技監による講義



加藤講師による講義



研修会の様子



令和元年度「中堅職員研修会」参加者

令和元年度 第1回、第2回農業水利施設 ストックマネジメント研修会を開催しました

本会では、農業水利施設の管理体制強化や管理技術の向上や施設管理者自らが機能保全計画を策定できる技術の習得を図るため、農業水利施設ストックマネジメント研修を開催しました。

第1回の研修会は、令和元年8月19日（月）に亘理土地改良区及び保原揚水機場にて、揚水稼働時の施設点検・機能保全計画書作成演習を行いました。



第1回研修会の様子

第2回の研修会は、令和元年12月13日（金）に、第1回目と同じ保原揚水機場にて、ポンプケーシング開放時の点検方法及び機能保全計画書作成演習を行いました。



第2回研修会の様子

第3回の研修会は、令和2年2月14日（金）に本会会議室で予定しており、第1回・第2回で行った機能診断調査と、その評価に基づく機能保全対策の検討を行い、経済的で合理的な保全計画書の作成演習を行うこととしております。

令和元年度 土地改良区役員研修会を開催しました

去る10月30日(水)～10月31日(木)の2日間、仙台市太白区秋保町湯元「仙台秋保温泉 岩沼屋」において、県内42土地改良区理事、監事143名参加のもと、令和元年度土地改良区役員研修会を開催しました。

この研修会は、土地改良区理事及び監事の資質向上を図り、円滑な組織運営並びに基盤強化に資するための情報提供を目的に、毎年度開催しているものです。

今年度は、本会鴛田技監による「宮城の水文と農業農村整備」の講義をはじめ、東北農政局農村振興部土地改良管理課 鈴木土地改良指導官より「土地改良法等の一部改正について」、宮城県農政部農山漁村なりわい課 今野技術主査より「多面的機能支払交付金について」等の講義や情報提供をいただき、参加者からは熱心な質疑や関連する意見が活発に出されました。



役員研修会の様子

日 程	研 修 内 容	講 師
10月30日(水)	宮城の水文と農業農村整備	水土里ネットみやぎ 技監 鴛田 豊 氏
	土地改良法等の一部改正について	東北農政局農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 鈴木 啓二 氏
	多面的機能支払交付金について	宮城県農政部 農山漁村なりわい課 技術主査 今野 弘明 氏
10月31日(木)	多面的機能支払交付金に係る土地改良区の取り組み	水土里ネットみやぎ総務部 会員支援班 主 幹 高橋 新 氏
	員外監事とリスクアプローチ監査について	水土里ネットみやぎ総務部 会員支援班 副班長 藤原 一義 氏
	土地改良基金の事業促進について	水土里ネットみやぎ総務部 次長 戸松 若菜 氏

令和元年度 土地改良区職員研修会を開催しました

去る12月5日(木)～6日(金)の2日間、大崎市鳴子温泉「鳴子観光ホテル」において県内27土地改良区39名参加のもと、令和元年度土地改良区職員研修会を開催しました。

今年度は土地改良区の運営に係る滞納処分や、複式簿記の導入に向けた土地改良区会計についてなど、土地改良区の運営にとって参考になる貴重な研修となりました。



職員研修会の様子

令和元年度 インターンシップ事業を実施しました

本会では、高校生、大学生が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成に繋がることを目的としたインターンシップ（現場実習教育）を実施しました。

※令和元年度については、高校生のみの実施となっています。

◆高校からの受入（応募＝小牛田農林高等学校から3名）

実施期間：令和元年10月2日（水）～10月4日（金）の3日間

実施日	実施プログラム
10月2日（水）	オリエンテーション、本会の概要、農業農村整備の概要、農業・農村施設見学
10月3日（木）	測量実習、測量成果図面作成
10月4日（金）	排水路設計計画、現場実習総括、マナー講習、先輩と意見交換

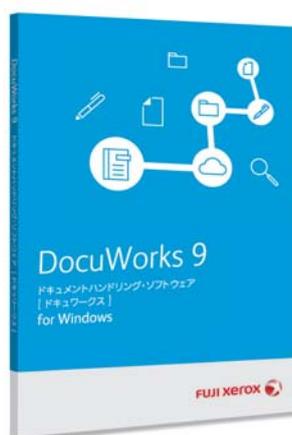


排水路測量実習



測量成果図面作成

FUJI XEROX 



電子文書と紙文書を
一元管理。

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア

DocuWorks 9

国内販売累計500万ライセンス達成

富士ゼロックス株式会社

Xerox, Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

www.fujixerox.co.jp

富士ゼロックス宮城株式会社

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル TEL 022-221-2131

www.fujixerox.co.jp/myx/

第42回全国土地改良大会岐阜大会が 開催されました



岐阜大会式典



主催者挨拶（二階俊博全国水土里ネット会長）

去る10月16日（水）「清流で未来をうるおす土地改良 ～水土里の恵みを新たな世代へ～」をテーマに、「第42回全国土地改良大会岐阜大会」が岐阜県岐阜市「岐阜メモリアルセンター で愛ドーム」を会場に、全国水土里ネット・水土里ネットぎふ主催、農林水産省・岐阜県・岐阜県議会・岐阜市・岐阜県市長会・岐阜県町村会の後援のもと盛大に開催されました。宮城県からは、台風第19号による被害で参加者が減ったものの 県・土地改良区・本会職員を含め総勢40名が参加しました。

大会当日は、全国各地より約4,000名の水土里ネット関係者及び農業農村整備事業関係者が出席し、式典が始まりました。

式典では開催地である水土里ネットぎふの藤原勉会長の挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国水土里ネット会長が挨拶を述べ、古田肇岐阜県知事、柴橋正直岐阜市長より歓迎の挨拶をいただきました。さらに来賓の伊東良孝農林水産副大臣、野田聖子衆議院議員、水野正敏岐阜県議会副議長、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 進藤金日子参議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員より祝辞をいただきました。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、本県からは伊豆沼土地改良区 安部昭男理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞され、本県関係者をはじめ、会場の出席者からの祝福の拍手につつまれました。



来賓祝辞（伊東農林水産副大臣）



安部理事長代理の千葉豊茂総括監事(右から2番目)

続いて、農林水産省農村振興局 奥田透次長より「未来を潤す土地改良」と題し、基調講演が行われ、その後、岐阜県の優良地区事例として、高山市の株式会社 寺田農園、輪之内町の農事組合法人 本戸営農組合より事例紹介が行われました。



大会終了後の宮城県参加者記念写真(中央右 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 進藤議員、中央左 宮崎議員)

また、パネル展示では、東日本大震災で被災した本県と岩手県・福島県、平成30年7月豪雨で被害を受けた岡山県・広島県からの復旧・復興状況を紹介したパネル展示に参加者は足を止め見入っていました。

最後に、第43回全国土地改良大会 次期開催県の群馬県土地改良事業団体連合会に大会旗の引継ぎが行われ、大会式典の一切が終了しました。

大会2日目17日(木)の事業視察では、各務用水土地改良区の芥見大船太陽光発電所と曾代用水土地改良区の曾代用水を視察しました。

芥見大船太陽光発電所では、農業用水路の上部に太陽光発電施設を非補助事業で整備し、発電規模は149.5kwh、売電金額は年間約700万円で、揚水ポンプの電気代の80%以上を自給している説明がありました。

曾代用水では、約350年にわたり農業の発展に寄与してきたことや農家主導で建設された珍しい用水であることが評価され、平成27年10月に世界かんがい施設遺産に登録された説明がありました。当日は、江戸時代に建設された曾代用水の歴史を伝える紙芝居が行われました。

どちらの施設においても、参加者はメモを取りながら真剣に話を聞き、質問するなど有意義な視察となりました。



【芥見大船太陽光発電所の現地視察】



【曾代用水の歴史を伝える紙芝居の上映】

宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会 令和元年度総会が開催されました

去る10月7日（月）、宮城県土地改良会館5階大会議室において、宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会令和元年度総会が午後2時から開催されました。

総会は、千葉会長（宮城県農政部次長）の挨拶の後、議案の審議に入り、第1号議案から第4号議案まで原案どおり承認され、第5号議案の任期満了に伴う役員選任では、現役員6名の方々がそのまま留任されることになりました。

当日の提出議案は次のとおりです。

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1号議案 | 平成30年度活動報告について |
| 第2号議案 | 平成30年度決算報告について |
| 第3号議案 | 令和元年度活動計画（案）の承認について |
| 第4号議案 | 規約の改正について |
| 第5号議案 | 役員を選任について |

宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会 役員名簿（任期：令和元年度～令和2年度）

役員	氏名	所属団体名	役職名
会長	千葉伸裕	宮城県	農政部次長
副会長	後藤 壽	大崎市産業経済部	部長
副会長	菅原 義幸	迫川上流土地改良区	理事長
副会長	菅原 喜久男	宮城県土地改良事業団体連合会	専務理事
監事	若生 久二	仙台市泉土地改良区	理事長
監事	氏家 敏	江合川沿岸土地改良区	理事長



通常総会の様子

みやぎ水土里ネット女性の会 令和元年度通常総会及び研修会が開催されました

去る11月20日（水）、午前11時から宮城県土地改良会館5階大会議室において、「みやぎ水土里ネット女性の会」令和元年度通常総会及び研修会が、県内の水土里ネット及び水土里ネットみやぎに在職する女性職員56名の参加のもと開催されました。

総会では、みやぎ水土里ネット女性の会今野会長が、「女性の会も今年で2年目となりました。より良い意見交換の場となればと思います。」と挨拶され、続いて水土里ネットみやぎ鵜田技監よりご祝辞をいただきました。

その後、今野会長が議長となり議事進行のもと、議案（1）～（4）が上程され、全議案とも原案のとおり承認可決され総会は終了しました。

当日の提出議案は次のとおりです。

- （1）平成30年度事業報告について
- （2）令和元年度事業計画（案）について
- （3）「みやぎ水土里ネット女性の会」会則の一部変更について
- （4）みやぎ水土里ネット女性の会役員等の選任について
⇒現役員10名の方々がそのまま留任されることになりました。



今野会長の開会挨拶



鵜田技監の祝辞



通常総会の様子



研修会の様子

「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び 研修会が開催されました

去る12月10日（火）、午後1時30分から砂防会館別館1階「木曾」において、「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会が、全国の水土里ネットに在職する女性職員の参加のもと開催されました。

当日は、第一部が総会、第二部がパネルディスカッション、第三部が意見交換会という内容で開催されました。第一部総会では、全国水土里ネット小林祐一専務理事より主催者挨拶があり、続いて都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員より来賓挨拶をいただきました。その後は、第1号議案から第4号議案が上程され、全議案とも原案のとおり承認可決され総会は終了しました。

当日の提出議案は次のとおりです。

- 第1号議案 会則案制定
- 第2号議案 役員選出
- 第3号議案 活動報告
- 第4号議案 活動計画案

総会後は、情報提供として令和元年度に「女性の会」を設立した、山形県、香川県、長崎県から報告がありました。続いて、設立準備県や既存設立県からの活動報告もなされました。

第二部のパネルディスカッションは、パネリストとして、歌手・俳優のおりも政夫氏、駿河大学現代文化学部教授の平井純子氏、日本のひなた水土里ネット女子会会長の奥村千扶子氏、フリーアナウンサーの名越涼氏の4名を迎えて行われました。

第三部の意見交換会は、全国各地の特産品を持ち寄って行われ、女性の会設立の際の話や、普段の仕事の話などで盛り上がりました。



全国水土里ネット小林祐一
専務理事による主催者挨拶



選出された役員の方々



パネルディスカッション

全国水土里ネット女性の会 役員等

役員	氏名	所属団体名	役職名
会長	萩原 丈巳	水土里ネットやまなし	総務部総務課長
副会長	荒木 美子	水土里ネット岡山	総務部長
副会長	戸松 若菜	水土里ネットみやぎ	総務部次長

顧問・相談役	氏名	所属	備考
顧問	進藤 優貴子	都道府県水土里ネット会長会議顧問進藤金日子（参議院議員）令夫人	
顧問	宮崎 匡代	都道府県水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫（参議院議員）令夫人	
相談役	武山 絵美	愛媛大学大学院農学研究科教授	

令和元年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました ～宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員が受講～

去る9月12日（木）～13日（金）の2日間、東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において、ふるさと保全ネットワーク（全国土地改良事業団体連合会）並びに農林水産省主催による「令和元年度 ふるさと水と土基金全国研修会」が開催されました。

この研修会は、中山間地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材（ふるさと水と土指導等）の育成に資することを目的として毎年開催されており、本県からは、宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員市町担当職員等5名が参加し、中山間地域等の活性化に係る情報の収集、会員市町相互の情報交換が行われました。

はじめに、主催者を代表して小林祐一全国土地改良事業団体連合会専務理事、植野栄治農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課長より挨拶が述べられました。

講演では、農村地域の定住条件の強化に係る施策・取組事例、持続可能な地域社会をつくる営業力とホスピタリティについて講演があり、事例紹介では地域活性化の活動事例紹介、中山間地域の活性化についての事例紹介がありました。講演終了後には、質疑応答が設けられ参加者からは活発な意見・質問等が行われ、有意義で参考となる研修会となりました。

なお、研修会内容は次のとおりです。

日 程	研修内容（講演・事例紹介）	講 師
9月12日 （木） 講 演	「農村地域の定住条件の強化に係る施策について」	大 畠 学 人 氏 （農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室長）
	「持続可能な地域社会をつくる営業力とホスピタリティ」	堀 口 正 裕 氏 （株式会社第一プログレス常務取締役 TURNSプロデューサー）
	農村地域の定住条件強化の取組事例 「ICTと再生可能エネルギーを利用した農村企業連携と農村福祉活動の紹介」	高 橋 幸 照 氏 （一般社団法人 ふるさと屋理事）
9月13日 （金） 事例紹介	地域活性化の活動事例紹介① 「農業高校生の力で中山間地域を活性化！中山間ふるさと活性化チャレンジ事業について」	佐 藤 龍 一 氏 （千葉県農林水産部 農地・農村振興課技師） 佐 藤 玲 子 氏 （NPO法人 千葉自然学校事業部・受託事業課長）
	地域活性化の活動事例紹介② 「このままでは限界集落に、何とかしようと住民が立ち上がり、さまざまなことにチャレンジして11年、今では移住者も来てくれ地域が元気になりました！」	熊 谷 哲 周 氏 （花巻市高松第三行政区ふるさと地域協議会事務局長）
	「中山間地域の活性化について」	荻 野 憲 一 氏 （農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課中山間地域・日本型直接支払室長）



主催者挨拶

（小林祐一全国土地改良事業団体連合会専務理事）



主催者挨拶

（植野栄治農林水産省農村振興局地域振興課長）



研修会の様子

国営中津山農業水利事業完工式が開催されました

去る11月22日(金)、11時30分より石巻グランドホテルにおいて、国営中津山農業水利事業完工式が開催されました。

完工式では、東北農政局川合靖洋局長の式辞で始まり、江藤拓農林水産大臣（代理：農村振興局整備部安部伸治部長）の挨拶の後、東北農政局中津山農業水利事業所大内英司所長が事業経過報告を行いました。続いて、宮城県村井嘉浩知事（代理：農政部佐藤夏人部長）、本会伊藤康志会長（代理：渡辺恒夫調整役）、石巻市亀山紘市長より祝辞をいただき、中津山地区国営土地改良事業促進協議会鈴木博会長（石巻市北方土地改良区理事長）の謝辞により式を閉会しました。

完工式終了後には、同ホテルにて13時00分より完工祝賀会が催され、120名の出席者が事業の完工を祝いました。



完工式での東北農政局川合靖洋局長の式辞



完工祝賀会での中津山地区国営土地改良事業促進協議会鈴木博会長（石巻市北方土地改良区理事長）の挨拶

事業概要

項目	内容	項目	内容
関係市町	石巻市、登米市	受益者数	25,438人（平成31年3月現在）
受益面積	3,191ha （水田3,166ha、畑25ha）	工期	平成20年度～令和元年度
	鶴家排水機場 1,554ha	総事業費	154億円
	後谷地排水機場 1,637ha	主要工事	排水機場（改修）2か所 排水路（改修）3.1km

関連事業

事業名	事業主体	概要
経営体育成基盤整備事業（三輪田地区）	宮城県	区画整理109ha、揚水機場2か所、用水路17km、排水機場1か所、排水路12km、道路11km、暗渠排水



中津山地区位置図



完工記念誌

～令和元年 秋の叙勲～

去る11月3日付けで、内閣府から令和元年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、佐藤澄男氏（元加美町長）が地方自治功勞として旭日双光章、阿部定氏（元美里東部土地改良区理事長）が土地改良事業功勞として旭日双光章を受章されました。

このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

旭日双光章



佐藤 澄男 氏
元加美町長

旭日双光章



阿部 定 氏
元美里東部土地改良区理事長

～令和元年 文化の日表彰～

宮城県は令和元年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では産業功勞として早坂勝一氏（色麻土地改良区理事長）、小野寺衛氏（涌谷町土地改良区理事長）が受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

産業功勞



早坂 勝一 氏
色麻土地改良区理事長

産業功勞



小野寺 衛 氏
涌谷町土地改良区理事長

土地改良区めぐり

石巻市蛇田土地改良区

シリーズ

31

土地改良区の概要

本地域は宮城県の東北部に位置し、地区の東にある旧北上川を用水源とし石巻市蛇田及び鹿又の一部に展開する低平な地域で、地区内を三陸自動車道が縦走、南には市街地が隣接する都市近郊型の地域です。

昭和30年に旧蛇田村が石巻市に合併する際、村が管理していた土地改良施設の管理団体として設立され、設立以来名称が一度も変わっていない県内でも珍しい土地改良区です。

地区内は昭和10年代に耕地整理事業により10a区画に整備されていたこともあり、土地改良区設立後は県営及び団体営かんがい排水事業や暗渠排水事業など用排水改良事業を主に行ってきましたが、農業生産性向上と経営規模の拡大を図るため平成6年度より県営ほ場整備事業を採択いただき三陸道西側の区域を整備しました。

ほ場整備事業完了後は、豊かなふるさと保全整備事業や適正化事業において機場等施設の整備や、多面的機能支払い組織に積極的に参画し地域資源の保全活動にも取り組んでいます。また、近隣4土地改良区で共同運営する石巻市釜谷太陽光発電所が平成30年10月に稼働し、当土地改良区が代表土地改良区となり会計や維持管理を担っています。

管内農地は土地区画整理事業や震災後の復興移転用地開発により設立当時の半分以下になり排水機場などの土地改良施設の果たす役割も変化し、土地改良区の責務も大きくなってきており、都市側との共存を図り良好な維持管理を行うためにも組織の基盤強化が課題となっています。



直営施工による幹線排水路の維持管理



直営施工による小排水路浚渫

石巻市蛇田土地改良区の概要

所在地：石巻市蛇田字中塚14

団体表彰：

- ・平成2年 全国土地改良事業団体連合会 銅賞受賞
- ・平成24年 全国土地改良事業団体連合会 銀賞受賞
- ・平成29年 全国土地改良事業団体連合会 金賞受賞

受益面積：218ha

組合員：167名 理事：5名 監事：2名

職員：2名



位置図

BV シリーズ Ver. 13 リリースしました。

64bit ネイティブ対応で快適な操作を実現。3D 描画機能も搭載

Bigvan al-Nil 2019 発売中！

農林土木設計に便利な拡張土木機能

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

拡張土木オプション

- ・縦横断面作成機能が新たに追加。
- ・GPS写真配置 ・S I M Aデータ
- ・S I M A-D M ・座標一覧
- ・クロソイド ・法面記号
- ・土量計算 ・面積計算
- ・土木ハッチング ・路面標識
- ・赤書き ・簡易断面
- ・トラバース/逆トラバース
- ・面積集計機能



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、農業生産の基盤整備と活性化に取り組んでいます。

株式会社パスコ 仙台支店

〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1

www.pasco.co.jp

株式会社同和建材

〒989-6124

宮城県大崎市古川石森字天王山2-1

電話 0229-24-2755

FAX 0229-24-2756

- ☆ 農業用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を



お陰様で弊社は創業72周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂けますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング

萱場工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号
TEL：022-272-8686
ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎



株式会社

谷工機社

用排水設備
上下水道設備
水門設備
除塵設備
電気設備
維持管理等



創業 65 周年

今後とも地域社会と地球環境に貢献してまいります

〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番30号
TEL (022)236-1131 FAX (022)232-9183

◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

【大河原支部管内】

◇村田町

佐藤英雄 → 大沼克巳 就任【R1.8.28】

【東部支部管内】

◇石巻市蛇田土地改良区

千葉利一 → 高橋長一郎 就任【R1.8.20】

連合会日誌

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	2日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和元年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	はまなすの館 (気仙沼市)
	6日	東北農政局、宮城県、本会	第24回七夕まつり “こどもに夢を”	勾当台公園 (仙台市)
	6日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和元年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	えずこホール (大河原町)
	7日	本会	令和元年度 第1回臨時総会	本会館
	9日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和元年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	鎌田記念ホール (大崎市)、遊楽館 (石巻市)
	19日	本会	令和元年度 第1回農業水利施設ストックマネジメント研修会	亘理町
9月	30日	本会	令和元年度 第2回換地技術者育成研修会	古川事業所
	2日～3日	本会	令和元年度 若手職員研修会	東北自治研修所 (富谷市)
	2日～3日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 第1回事務主任者会議	大崎市
	4日	本会東部支部	令和元年度 海岸防災林再生支援活動「水土里ネットの森」保育活動	東松島市
	4日	本会	令和元年度 第3回理事会	大崎市
	5日～6日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 農用地集団化等業務担当者会議	岩手県土地改良事業団体連合会 (岩手県盛岡市)
	10日	全国土地改良事業団体連合会	令和元年度 都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議	砂防会館 (東京都)
	10日	全国土地改良事業団体連合会	令和元年度 都道府県土地改良事業団体連合会会長・事務責任者合同会議	全国都市会館 (東京都)
	11日	本会	令和元年度 水土里ネット 議員懇話会と会員土地改良区理事長の意見交換会	仙台市
	12日～13日	本会	令和元年度 土地改良換地士部会 第47回通常総会及び研究会	松島町
	12日～13日	全国土地改良事業団体連合会	令和元年度 ふるさと水と土基金全国研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)
	13日	本会東部支部	令和元年度 東部支部女子職員研修会	仙台市
	18日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 第2回事務責任者会議	北海道弟子屈町
30日～10月1日	本会	令和元年度 中堅職員研修会	東北自治研修所 (富谷市)	

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
10月	2日～4日	本会	令和元年度 インターンシップ事業	古川事業所
	7日	宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会	令和元年度 第1回役員会、通常総会	本会館
	8日	本会大河原支部	令和元年度 仙南地域の農業農村めぐり	白石市
	9日	宮城県監査委員	令和元年度 財政的援助団体等の監査	本会館
	11日	宮城県農政部	農業農村整備事業等に関する意見交換会（キャラバン）	本会館
	16日～18日	全国土地改良事業団体連合会、岐阜県土地改良事業団体連合会	第42回全国土地改良大会岐阜大会	岐阜メモリアルセンターで愛ドーム（岐阜県岐阜市）
	22日	本会	令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	大崎市
	23日～24日	本会	令和元年度 第4回監事会（中間監査）	本会館
	23日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 管理主任者会議・財務管理強化対策専門指導員会議	山形県上山市
	28日	本会	令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	角田市、丸森町、大崎市
11月	30日	本会北部支部	令和元年度 北部支部みやぎ水土里ネット女性の会研修会	仙台市
	30日～31日	本会	令和元年度 土地改良区役員研修会	仙台市
	7日	本会	令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	仙台市（東北農政局、宮城県、宮城県議会）
	7日～8日	本会東部支部	令和元年度 東部支部会員研修会	胆沢平野土地改良区（岩手県奥州市）
	11日	全国土地改良事業団体連合会	「農業農村整備の集い」一農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～	シェーンパッハ・サポー（東京都）
	11日	本会	令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	衆・参議院会館（東京都）
	12日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	農業農村整備関係予算の確保と東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動、令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	農林水産省、復興庁、財務省（東京都）
	18日～19日	本会仙台支部	令和元年度 水土里ネットみやぎ仙台支部会員代表者及び職員合同研修会	十三湖土地改良区（青森県中泊町）
	19日	本会大河原支部	令和元年度 大河原管内土地改良区職員研修会	仙台市
	19日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 技術主任者会議	仙台市
12月	20日	みやぎ水土里ネット女性の会	みやぎ水土里ネット女性の会 令和元年度通常総会及び研修会	本会館
	20日	本会、名取土地改良区	令和元年度 海岸防災林再生支援活動「水土里ネットの森」保育活動	岩沼市
	22日	東北農政局、石巻市北方土地改良区	国営中津山農業水利事業完工式	石巻グランドホテル（石巻市）
	25日	本会	令和元年台風第19号の災害対応に関する要請活動	東京都
	25日～26日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和元年度 会計指導員会議	青森県
	27日	本会仙台支部	令和元年度 水土里ネットみやぎ・仙台支部女子職員研修会	大崎市
	5日～6日	本会	令和元年度 土地改良区職員研修会	大崎市
	10日	全国土地改良事業団体連合会	「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会	砂防会館（東京都）
12月	10日～11日	本会	換地計画実務研修会	本会館
	13日	本会	令和元年度 第4回理事会、第5回監事会	仙台市
	13日	本会	令和元年度 第2回農業水利施設ストックマネジメント研修会	亶理町
	27日	本会	仕事納め式	本会館

今後の行事予定

2020年	1月6日	本会	仕事始め式	本会館
	1月9日	全国土地改良事業団体連合会	令和元年度 都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議	砂防会館（東京都）
	1月9日	全国土地改良事業団体連合会	令和元年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	全国都市会館（東京都）
	1月9日	宮城県、宮城県農村振興技術連盟	宮城県耕地課設立100周年記念フォーラム	宮城県庁
	2月上旬	本会	第7回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト 審査会	本会館
	3月18日	本会	第61回通常総会	本会館

SEKISUI

タイマー機能と水位センサーで 水位管理の省力化を実現! (ICTの活用も可能です)

水田水管理省力化システム
多機能型自動給水機

水まわり

省力化で

- 水田経営の大規模化
- 果樹、園芸の作業時間確保

かけ流し
防止で

- ポンプ運転の電気代の節約
- 肥料や泥の流出防止で水質保全

積水化学工業株式会社

環境・ライフラインカンパニー 東北支店 TEL.022(217)0607

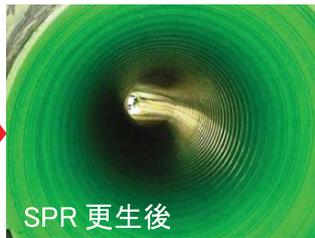
エスロンタイムズ on the Web

<https://www.eslontimes.com>

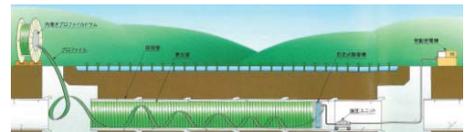
非開削で既設管を 水密性抜群の管に スピード更生! 農業用SPR工法



既存管



SPR 更生後



管の形状
口径・勾配に
フレキシブルに
対応!



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車 39-3

TEL・FAX 022-392-5981

日本SPR工法協会

TEL 03-5209-0130(代)

ホムズ http://www.spr.gr.jp/



みどり
水土里ネット みやぎ

●発行 2020年1月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号

Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390

<http://www.mlw.or.jp>

●印刷

株式会社 イシカワ印刷

〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9

Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035

